



特徴

- V6 System engine 1台でal-8s スタジアム アレイ エLEMENTを4台までドライブ
- al-8s、またはal-Classの他のシリーズと組合わせて現場に合うシステムを構築可能。
- SystemVUE™ネットワークを内蔵
- 1基のフライバーにal-8sELEMENTを16台懸架可能
- オプションとしてフライング・キット、運搬用のアクセサリ
- CST™ (Continuous Source Topology™) により、音響線形特性を維持したままal-12やal-4との配列が可能

説明

al-8s コンパクト ラインアレイ システムは、他のすべてのal-Class ラインアレイと同様にVUEの最先端技術と革新的なデザインを採用し、ジャンルを選ばない多用途性と優れたサウンドパフォーマンスを実現しています。

拡張性の高いal-8sは、効率の良い コンプレッションドライバやケプラーコーン/ネオジウムLFドライバー、そして DSPなど VUEの持つ高度なテクノロジーと制御ソフトSystemVUEや VUEPoint beamテクノロジーなどを他のal-Classと連携することにより、音響現場の主軸として幅広い用途に最高のパフォーマンスを提供することができます。

al-8sラインアレイシステムは、al-8sELEMENTとV6 System engineで構成されています。V6は、洗練されたDSPアーキテクチャと、最大4台のal-8sELEMENTを 3 wayでドライブするのに十分なアンプパワーを持っています。さらに、SystemVUEネットワーク機能により、直感的な SystemVUEソフトウェアを介してリモート管理とコントロールが可能なネットワークを簡単に組み立てることができます。

1 台のV6 System EngineはChあたり 2 台のal-8sELEMENTをドライブすることができます。複数のV6 System Engine と al-8sELEMENTを組合せる事によって大規模なシステムを構築できます。

al-8sはより低域を必要とする用途に対して、VUEの全てのサブウーファーに対応しています。

また、フライングやグランドスタッキングも可能です。

al-8sラインアレイシステムは、洗練されたDSPアーキテクチャを採用しており、「トランスデューサー、アンプ、キャビネットから SystemVUEソフトウェアに至るまで」各コンポーネントが調和を保ち、正確なコントロールと簡単な操作を可能にしています。V6 system Engineにはal-8sのためのプリセットライブラリーがインストールされており、オペレーターはアレイを組立て、SystemVUEソフトウェアから必要なプリセットを選択し調整するだけです。EQなどの調整は最小限に抑えられオペレーターはミックスの作業に集中できます。

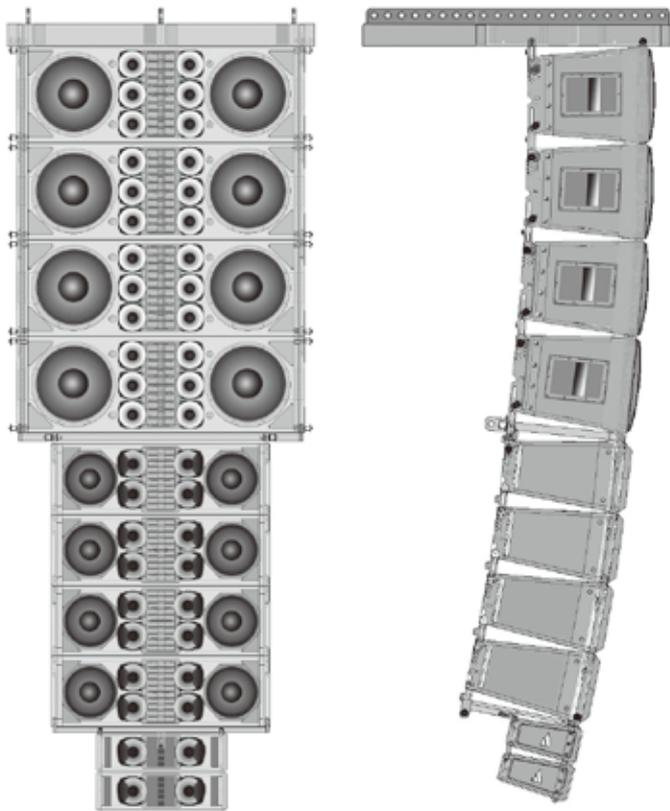
デザインノート

al-8s ラインアレイ エLEMENTには、VUEがal-8sのために特別に設計したトランスデューサーを搭載しています。専用設計された8インチの低域用トランスデューサーがペアで、ミッドレンジ用に4インチのケブラー加工されたネオジウムドライバーが4台配置されています。ミッドレンジユニットには、VUE独自のラテラル・アコースティック・シェード・モジュールが搭載されており、ドライバーを音響的に「ずらす」ことで、ウーファーの指向性を最適化し、動作範囲の上限での指向性を最適化することでカバーエリア全体でのトランジションを実現します

al-8sの高音域セクションには、1インチ口径のネオジウムコンプレッションドライバーが採用されています。このドライバーにはウェーブガイドがマウントされており、トランスデューサー同士の指向干渉を低減させ理想的な音響特性を実現しています。

al-8sのエンクロージャーは、12層のデュラコートペインティングで処理された強靱なバーチ合板で制作されています。al-8と共通のフライバーは、1基あたり16台のal-8s ELEMENTを連結して使用できます。リアのI/OパネルにはNL-8が2つ装備され、デジチェーン接続を簡単に行うことができます。また、リギングオプションにより、フライングとグランドスタッキングが可能です。





CONTINUOUS SOURCE TOPOLOGY™

VUE al-Classラインアレイは、シリーズのal-4, al-8s, al-12をどのように組合せても中高音域帯の持つ特性を1つのアレイとして構成できるラインアレイシステムです。

この設計思想により、システムの構成に柔軟製のあるデザインが可能なシステムです。

指向性、音圧レベル、サイズ、重量にいたるまで、全てのパラメーターが最適化され、事実上シームレスなアレイ構成が出来ます。

これにより、あらゆる音響環境にふさわしいシステムを経済的にも無駄のない形でデザインする事が出来ます。

MFドライバーとHFコンプレッションドライバーは、VUE Driveシステムエンジンに内蔵されたDSPを介して、最適なクロスオーバーポイントを設定し、使用環境に合わせた出力管理を行うよう設計されています。

al-ClassのHF/MF/LFのそれぞれのドライバーには、MFにベリリウムダイアフラムを採用するなどの独自のアーキテクチャーを持っています。そしてそのアーキテクチャーは全てのal-Classラインアレイシステムに共通しています。その結果、al-Classはどのような組合せでも連続的な音響直進性を持っています。

ドライブシステム

V6 SYSTEM ENGINE

- LF 1600W×2、MF 550W×2、HF 550W×2の出力
- 64bit DSPによるスピーカーマネジメントシステム搭載
- 118dBのダイナミック・レンジ
- INPUTディレイ (各チャンネル最大2秒)
- ユーザーインターフェイスのためのLCDディスプレイ
- Mac、PCに対応の制御ソフトSystemVUE
- 最大入力レベル+23 dBu
- レイテンシー < 1ms (標準640マイクロ秒)
- 消費電力 13.8A
- コンパクトな2Uラックマウント



2UサイズのV6システムエンジンは、Chあたり2台のal-8sエレメントを3-wayで十分にドライブすることのできる2in/6outのディスクリット構成パワーアンプです。

V6システムエンジンには、低域用に1600Wで2チャンネル中域と高域用に550Wで4チャンネルの専用アンプが搭載されています。(4Ω)

V6システムエンジンは、スピーカーマネジメント機能を備えたDSPを内蔵したアンプシステムです。

リアパネルには、アナログのXLAとデジタルのAES/EBUの入力を持ち、スピーカ出力端子にはNL8コネクタを1組装備しています。

V6システムエンジンは、SystemVUEソフトウェアを介してのネットワーク制御機能との連携をも可能にしています。

SystemVUE ネットワーク

VUEDrive V6 システムエンジンには、標準でネットワークおよびリモート管理機能が付属しています。拡張されたネットワークを簡単に組み立て、直感的な systemVUE ソフトウェアを介してネットワーク上の各要素やデバイスに簡単にアクセスすることができます。

フロントとリアパネルのイーサネットポートは標準のIPネットワークとの互換性を持っています。プラグインするだけで、製品が自動的に認識されDHCPベースのネットワーク、固定IPネットワークまたは無線ルーターを介したWi-Fi 接続に対応しています。

V6は、フロントパネルにイーサネットの「Input」を、リアパネルに「Input」と「roop」が用意されています。

ループオプションを使用すると、システムスイッチを個別に実行せずに追加デバイスをネットワーク上にダイジーチェーン接続することができます。



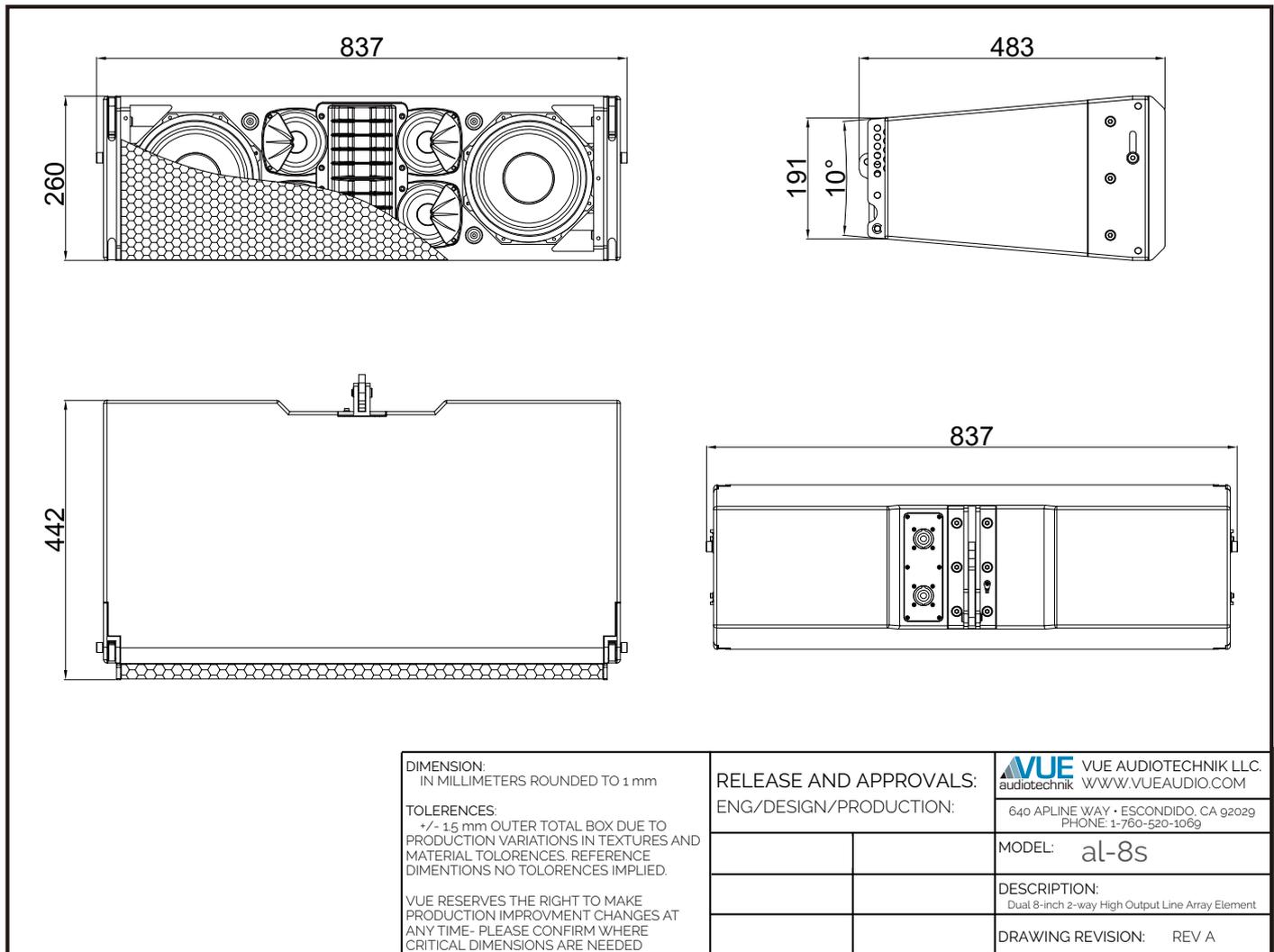
SYSTEMVUE
SOFTWARE
MONITORING AND CONTROL

ネットワークの信頼性を確保するために、V6のイーサネットポートは切断を検知し、ローカル障害が発生した場合、自動的にパススルーに切り替わります。これにより単独の機器に障害が発生してもネットワーク自体は機能し続けます。

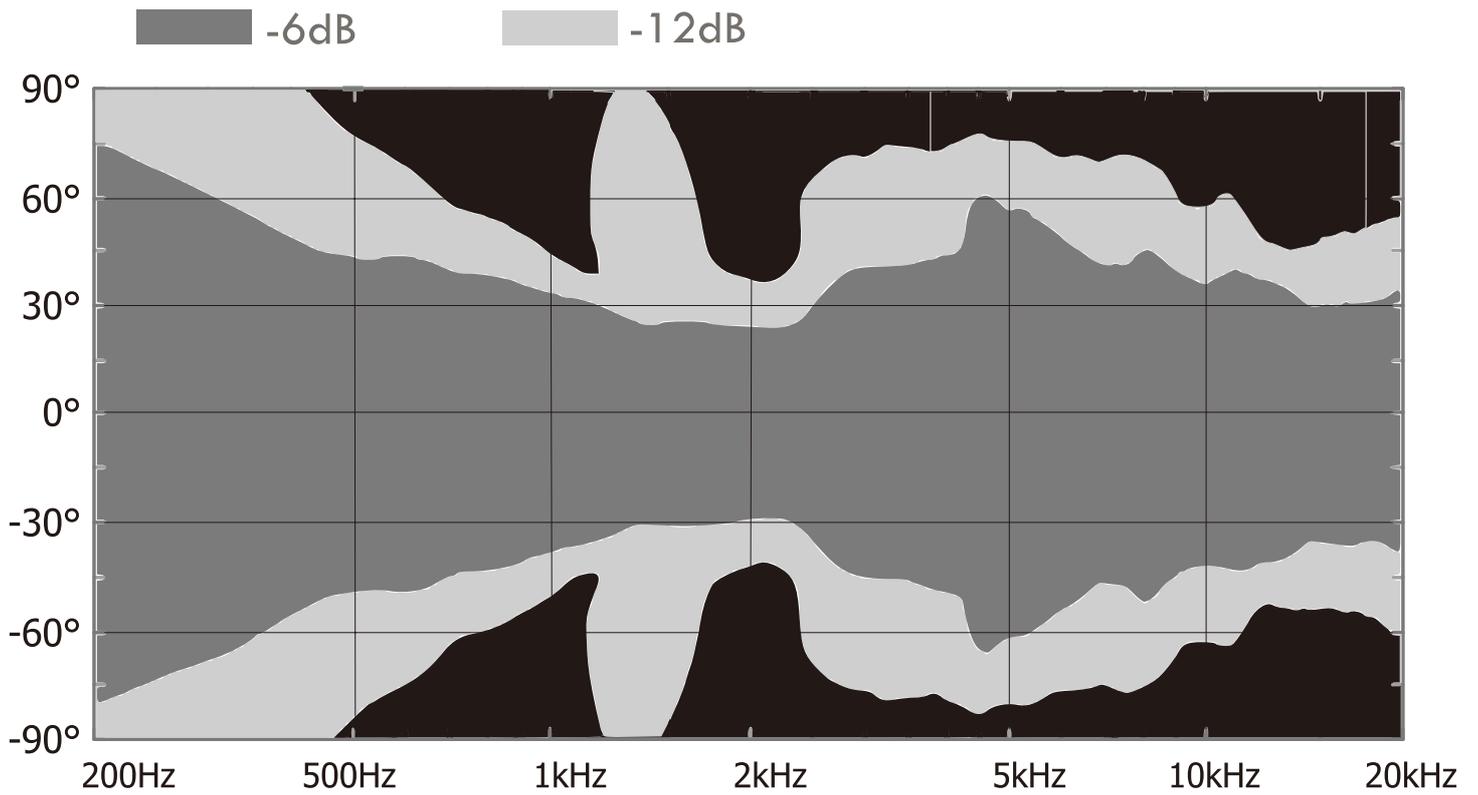
SystemVUEソフトウェアは、スピーカー保護、入出力レベルボリューム、ミュート、ディレイ、ディレイ、さらには入力ソースの切替などの重要なパラメータ調整するために、個々のデバイスだけでなく、ネットワーク全体にアクセスすることができます。また、ユーザーはal-8sを様々な環境にマッチさせるためにSystemVUEソフトウェアを介して、V6 System Engineをカスタマイズしたり、ユニットをアップデートしたりすることができます。



al-8s 寸法図



水平方向拡散MAP



水平方向拡散

VUE al-Class | al-8s